大豊精機 活動レポート

2023年度

モノづくりを
支える
100年ブランド企業を
目指して。

大豊精機株式会社

Innovation to the Green Tomorrow

人にやさしく　社会にやさしく　地球にやさしい
明日に向かっての革新

経営理念

1
安全性と信頼性の高い商品づくりを通して社会に貢献する。

2
広い視野を持って研究と開発につとめ、
独創性の高い魅力あふれる商品を提供する。

3
多彩な能力開発と社内外の連携活動により、
活力と生きがいのもてる企業風土をつくる。

Management concept

1
TSK contributes to society by manufacturing safe and reliable products.

2
TSK strives to conduct research and development
from a wide perspective in order to provide creative and attractive products.

3
TSK works to create a dynamic and purposeful corporate culture.
By developing a wide range of capabilities and through
cooperation within and beyond the Group.

モノづくりを支える
100年ブランド企業を目指して

代表取締役社長

大豊精機はこれまで、「クルマづくり」の技術革新を通して日本の自動車産業とともに今日の姿にまで成長させていただくことができました。

そんな私たちの次の願いは「クルマに乗る人」「クルマを造る人」「モノづくり」「人が集う社会」の確かな未来です。**“Innovation to the Green Tomorrow”**をスローガンに、「私たちにできること」「私たちがやらなくてはならないこと」そして「私たちにしかできないこと」を常に意識した企業活動を展開し、「100年ブランドの創造」を目指すとともに、次世代のクルマづくり、モノづくりに貢献してまいります。

皆様方の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

地球環境との共生 ― 大豊精機100年ブランドの創造

目　次

拠点と主な製品 …… 3

中期的取り組み

事業に関する取り組み …… 4

取り組みの報告

健康経営に関する取り組み …… 5
環境に関する取り組み …… 6･7
CSRに関する取り組み …… 8･9
皆様とともに …… 10

データ

事前に関するデータ …… 11

拠点と主な製品

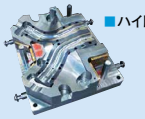
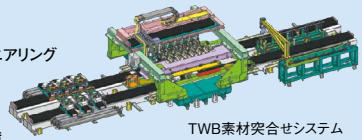
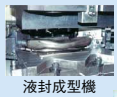
事業に関する取り組み

中期の取り組み

「明るく・楽しく・元気よく」
企業価値向上と付加価値の高いモノづくりに向けて

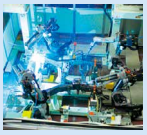
●技術のあゆみ

■ホットフォーマ(高速鍛造機)用金型
■多軸NC加工機用シリンダヘッド加工冶具assy
■カムシャフト加工冶具assy
■コンロッドフレキシブル加工冶具assy
■ハイドロフォーミング用金型
■YAGレーザ加工機 ■コンパクトハイドロフォーミングマシン
■プレス解析用CAE導入
■3D設計開始
●計測技術の確立
■3Dスキャン・リバースエンジニアリング
■鉄製ロータベーン加工
■トラックフレーム用プレス金型
■トラックフレーム用アーク溶接設備
■サーボプレスライン
●液封成型機の開発
■フロント・ロアアーム
■リア・アクスルビーム



TWB素材突合せシステム

液封成型機

コンパクトハイドロ
フォーミングマシン

液封成型による
フロント・ロアアーム

液封成型による
リア・アクスルビーム


トラックフレーム用アーク溶接設備

●電動サーボプレスによる
コンパクト成形機を
ラインナップ化
生産ラインの省スペース化・
設備投資低減等に貢献
■電動サーボ成形機

「スモール f」
サーボ成形機

「コンパクトホットプレス」
サーボ成形機

■バーチャルファクトリー

●新技術・
プロセス改革へ
チャレンジ
■c+pod

■ナノファイバー
吸音材

■水素トーチ

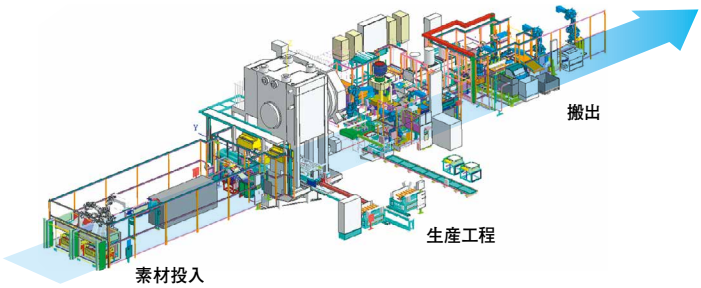
■点群ソリューション

2000～ デジタルエンジニアリング
2010～ トータルエンジニアリング
2020～
新たな商品・お客様・技術に挑戦

●2つのトータルエンジニアリング

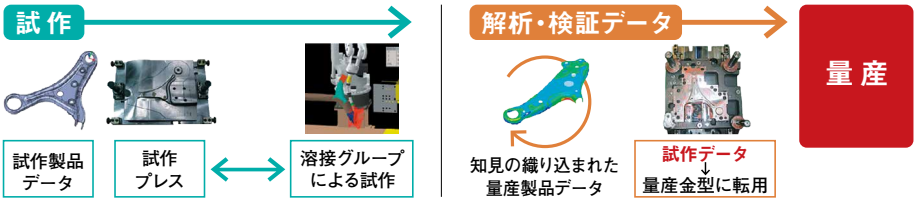
生産ライン のトータルエンジニアリング
ラインスルー

素材投入から生産工程、
さらに品質管理まで無駄のない生産ラインによる
省エネ、省人、コンパクトを実現。



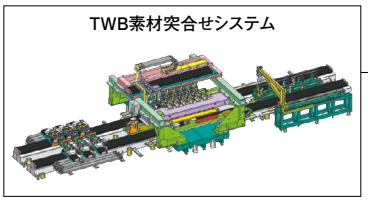
型づくり のトータルエンジニアリング
プロセス スルー

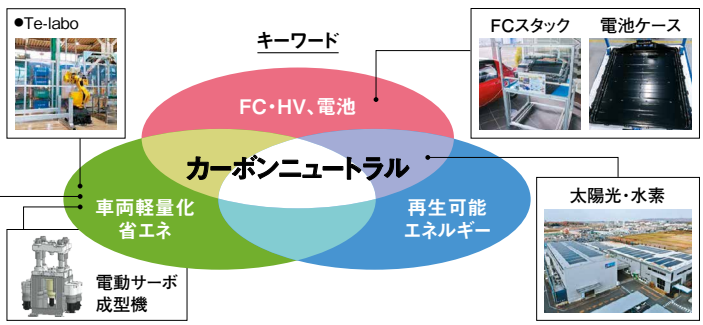
試作から製品までの情報を一元化。
品質の作り込みを実現。



●カーボンニュートラルの実現に向けて

素材・部品から設備・型までものづくりの全てのプロセスで革新的技術開発を推進し、製品・サービスを通してカーボンニュートラルの実現に向けて貢献していきます。





健康経営に関する取り組み

取り組みの報告

健康経営の実現に向けて

●健康経営の取り組み

従業員の皆さんが元気に働くためには、心と体の健康づくりはもちろん、働き方や職場環境づくりも重要となります。
当社はこれまでも様々な取り組みを推進してきましたが、2019年度からは更に積極的に推進する為に、トップの健康経営宣言を実施。「心身の健康」、「働き方」、「人財育成」、「職場環境」、「人事制度」の5つの軸をベースに、健康経営の実現を目指します。

※健康経営は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

健康経営宣言

大豊精機は社員一人ひとりが心身ともに健康で、やりがいを持ってお客様や社会に笑顔を届けることができる会社となるため、社員と家族の健康維持・増進活動の取り組みを強化し推進します。安全と健康を最優先する職場環境づくりを実践し、社員と家族の心身が健全で笑顔の溢れる会社を目指すことを宣言します。

大豊精機株式会社
代表取締役社長 **神谷 忠弥**

●会社従業員が一体となった活動

2024年3月11日(月)、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する健康経営優良法人2024に認定されました。
当社では、2019年度より健康経営優良法人の申請を始め、2021年から4年連続の認定となります。
今後は、健康経営優良法人の継続認定に向けて引き続き健康づくり、メンタルヘルス、職場環境づくりを重点に取り組んでいます。

2024 健康経営優良法人 Health and productivity

●体の健康づくり

①「TSKてくてく大作戦」開催

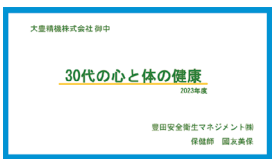
実施期間…2023年11月1日(水)～12月31日(日)2ヶ月間
参加人数…210名(全10チーム 各部対抗)
昨年参加人数より、50名参加者増加

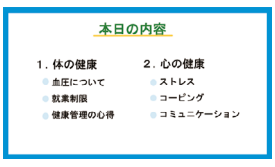
②ヘルスマチャレンジ参加

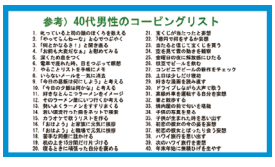
実施期間…2023年9月4日(月)～12月3日(日)3ヶ月間
内　　容…運動・食事改善・歯のケア各項目を取り組む
データによる進捗報告及びフォローで全員参加を達成
一定基準をクリアした方へ「ヘルスマ賞」を授賞。

●心の健康づくり

30代を対象にした中堅層社員向けセルフケア講習会を実施しました。
メンタルヘルスの基礎知識や自身のストレスに気付き・対処方法を学ぶことでストレスと上手く付き合う方法やストレス軽減・予防等に役立て、健康維持を図ります。今年度はMicrosoft Teamsを利用し多拠点の参加者と効率的な講習会を開催しました。







環境に関する取り組み
取り組みの報告

Innovation to the Green Tomorrow
人にやさしく 社会にやさしく 地球にやさしい 環境活動を推進

●環境方針　ISO14001環境方針

基本理念

トータルエンジニアリングを強化したモノづくりで、地球環境保全と持続可能な社会づくりに貢献

基本方針

1 環境保全推進と経済活動の両立を実現する新技術を通じ、地球環境問題の解決と社会への貢献

2 環境保全推進のため、新たなモビリティーに応じた賢いモノづくりと、自主的な計画に基づく継続的な改善を遂行

①リアルとバーチャルの融合を図る進化したデジタル技術を浸透させ、環境により良いモノづくりに貢献
②工場排出CO_2ゼロに向けた取り組みを推進
③廃棄物の削減、適正処理、リサイクルを推進

3 環境保全に関わるステークホルダーとの信頼関係の構築

①法令順守と環境災害の未然防止
②お客様・仕入先様との密接な連携
③地域社会、地域環境への貢献

4 環境方針を周知徹底、環境保全に責任を持った行動の実践

2024年6月13日
大豊精機株式会社 神谷忠弥

●環境に関する中期的な取り組み

コミットメントを実現するため、2021－2025年の5カ年を対象とした、「環境取り組みプラン」を策定しました。

取り組み項目			5カ年の取り組み	
カーボンニュートラルに向けた取り組み	製品CO_2削減	自動車の燃費向上に寄与する製品開発の推進	製品	環境配慮製品の拡販による、環境貢献の拡大
	工場CO_2削減	生産活動における省エネ活動の徹底と温室効果ガス排出量の低減	生産	新設する生産ライン導入時にエネルギー効率を評価するしくみの導入など
		物流活動における輸送効率の追求とCO_2排出量の低減		
循環型社会の構築に向けた取り組み	循環型社会の構築	生産における排出物の低減と資源の有効利用		排水や廃液類を低減する処理技術の導入など
		梱包資材の使用量低減と資源の有効利用		
環境保全と自然共生社会の構築	自然共生社会づくり（生物多様性の保全）	地域とつなぐ、自然保全活動		会社の周辺地域を調査し、動植物、水などの自然資源保護の推進
		未来へつなぐ、教育貢献の強化		
		バイオ緑化、森林保全活動		
環境経営	マネジメント	仕入先と連携した環境活動の推進	―	活動範囲のグローバル化
		環境教育活動の充実と推進		
		コミュニケーション活動の充実		

環境に関する取り組み
取り組みの報告

カーボンニュートラルを目指して

●環境教育

環境保全活動の継続とレベルアップを図るため、
計画的な環境教育を推進しています。

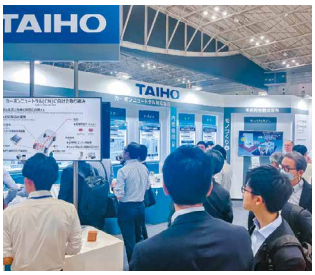
区分	教育名	延人数
管理者	エネルギー管理者	5名
	公害防止管理者	13名
	特別管理産業廃棄物管理責任者	32名
一般	ISO14001内部環境監査員	81名

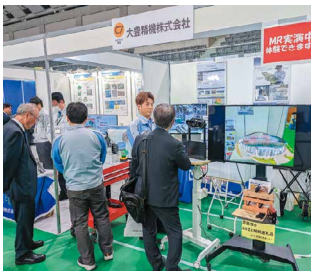
●環境月間

環境意識向上活動として、2012年から毎年、6月の環境月間に合わせて職場ごとにグリーンカーテン活動を行っています。

●外部との連携、取り組みPR

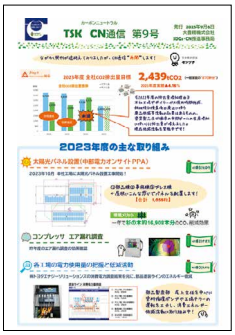
5月22日（水）～24日（金）「人とくるまのテクノロジー展2024横浜」にて大豊グループとして参加しカーボンニュートラル関連の設備・型の紹介及び提案をPRしました。
同じく5月23日（木）、24日（金）に今年で14回目となる「とよたビジネスフェア」にも同時出展し、工場自動化提案のTe-LABOやMRシステムを利用した点群ソリューションを多くの来場者の方へ体験頂きました。

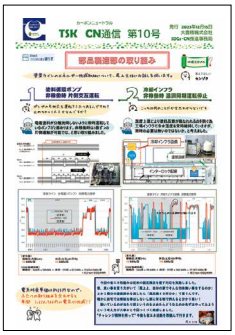




●カーボンニュートラル（CN）理解活動

社内にSDGs・カーボンニュートラル（以下CN）推進事務局を立ち上げカーボンニュートラルをわかりやすく社員に広めるため、2～3ヶ月に1回、CN通信を発信。カーボンニュートラルそのものの考え方や身近な業務での取り組み。社員からの質問への回答など、社員の意識と理解度向上を図りました。





●SDGs理解活動

本社工場では、事務棟階段へSDGsの17項目の目標を掲示。自然とSDGsの意識向上が図れるよう取り組みました。

●ソーラー発電の導入

2023年10月から本社工場の屋根を活用してソーラーパネルを設置しました。年間241t-CO_2/年を削減することができます。

パネル枚数
1,058枚
※本社工場の部品棟・プレス棟屋根に設置

発電量
約700,000kwh/年
本社工場電力使用量の約25%

CO_2削減量
241 t-CO_2/年
1年で杉の木約16,908本分のCO_2削減効果

CSRに関する取り組み

取り組みの報告

イノベーションと健全な事業活動を通じて持続可能な社会とその発展に貢献します。

●コンプライアンス方針

コンプライアンスを徹底し、事業活動のあらゆる場面において企業に与えられた社会的責任を遂行

1 内部統制監査を強化し、不正の未然防止を実施

①J-SOX監査による内部統制システムを構築し、整備・運用を実施
②全案件を対象とした購買プロセス監査等を実施し、不正の潜在リスクを排除
③不祥事及び困りごとの早期発見のため、内部通報制度（ホットライン）を設置

2 コンプライアンスを遵守する風土作りを推進

①教育の継続的な実施により、コンプライアンスを遵守する職場風土を構築
②コンプライアンスの徹底を図るとともに、全社員に「TSK行動指針」を配布、「コンプライアンス浸透度・リスク分析調査」を実施し定着を推進
③企業倫理と法令等を遵守する体制を確立するため「コンプライアンス委員会」を定期的に開催

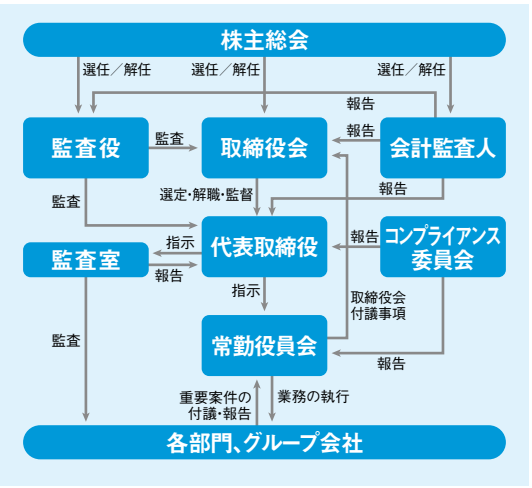
3 「TSK社員の行動指針」等に基づき、企業活動のあらゆる場面において、法令及び社会規範を遵守した行動を徹底

4 社員一人ひとりを公正、公平に評価し、働き甲斐のある職場環境を実現

2024年6月13日
大豊精機株式会社 神谷 忠弥

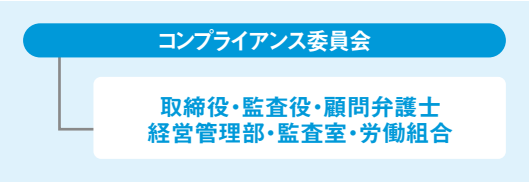
●コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスを「株主に代わって、経営の効率性や適法性をチェックする仕組み」であるととらえ、監査役、取締役会を設置しています。
監査役は非常勤監査役1名を含む2名体制であり、取締役の業務執行の監視による経営判断に対する牽制的役割を担うなど、経営管理体制のチェックができる仕組みになっています。
取締役会では法令及び定款で定められた事項のほか、経営に関する重要事項の意思決定と取締役の監督機関と位置付けており、重要事項については、常勤役員会にて十分な審議を行った上で取締役会に上程することにしています。
また非常勤取締役は、1名選任しており、経営意思決定の透明性を高めることで、コーポレート・ガバナンスの強化を図っています。



●コンプライアンス委員会

内部統制を補完する仕組みの一つとして、企業倫理と法令等の遵守を徹底するため、コンプライアンス体制を構築しています。



CSRに関する取り組み

取り組みの報告

イノベーションと健全な事業活動を通じて持続可能な社会とその発展に貢献します。

●コンプライアンスに関する取り組み

●法規制順守状況

2023年度は、法規制の違反はありませんでした。

●内部通報制度

「TSK ホットライン」や、「なんでも相談・連絡窓口」を設置し、相談しやすい環境づくりを工夫しています。
また、通報者・相談者の身分やプライバシーの保護が十分に配慮されていることをコンプライアンス教育を通じて周知しております。

●コンプライアンス教育

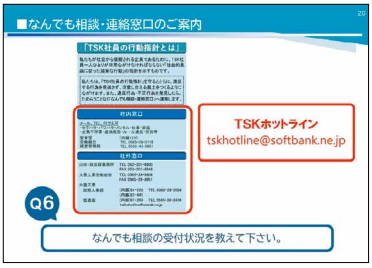
職場単位でコンプライアンス教育を実施しています。また、社内への注意喚起を目的に、他社の不正・コンプライアンス違反等の事例を「他山の石」として、月1回配信しています。

●コンプライアンス浸透度調査

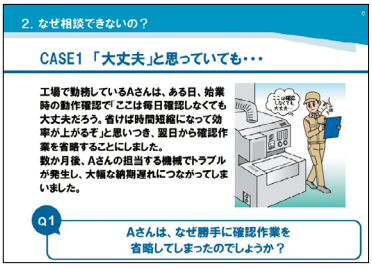
職場で働く全ての者を対象とし、毎年2回、浸透度調査を匿名方式で実施しております。ここで得た回答を参考に当社のリスクを導きだし、その対応方法についてコンプライアンスに係る会議体で報告を行っております。

●コンプライアンス便り配信

年4回発刊する社内報にて、コンプライアンス便りのコーナーを通じてイラストや事例をもとにコンプライアンス意識の向上に努めております。



連絡窓口



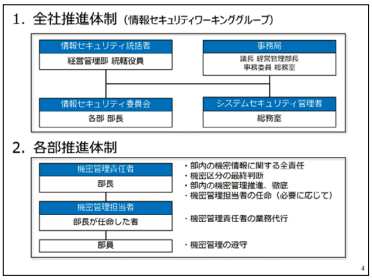
コンプライアンス啓蒙

コンプライアンス便り配信

●リスク管理

●情報セキュリティ

情報セキュリティの全社体制を構築し、セキュリティ委員会で、様々なセキュリティ対策を実施しています。主な対策としては、システムのセキュリティ機能強化、ユーザー（従業員）教育、セキュリティ内部監査を実施しています。
また、セキュリティ対策は、自動車産業セキュリティガイドラインに準拠した対策を実施しています。



TSK情報セキュリティガイドブック

●事業継続の取り組み（BCM）

大規模災害等の発生に備え、被害の最小化と早期復旧のために各機能が事業継続マネジメント（BCM）に基づき訓練や対策を立て進めています。屋外設備被害状況の確認にはiPadなどを活用し、リモートでも対応できる体制づくりを目指しています。

持続的な事業活動を支える強いパートナーシップの構築

お客様とともに

●「点群モデル化」ソリューション 中部経済産業局長賞受賞

第9回ものづくり日本大賞において、製造業のデジタル変革に活かす当社の「点群モデル化」ソリューションが中部経済産業局長賞を受賞しました。今後この技術手法を発信して各種産業発展のために貢献したいと考えています。

地域社会とともに

●地域社会への貢献

地域社会の発展のため、交通安全立哨をはじめとして様々な活動を通じて、引き続き地域社会の発展に努めていきます。

交通安全立哨

障がい者交流ダーツ大会

岩滝自治区夏祭り参加

募金活動

従業員とともに

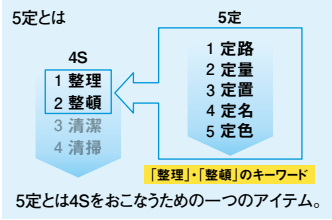
●“危ない事を危ないと言える職場づくり”を基本とした安全活動

基本に忠実な安全活動

安全をすべての作業を進める上での最初の入口と捉え、トップを含め全従業員が安全を確認した上での作業を全員が実施しています。

●主な安全活動

伝承室

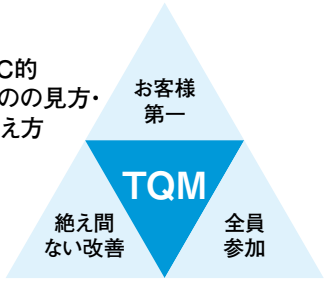


5定

●全員参加のTQM活動

「お客様第一」・「全員参加」・「絶え間ない改善」

厳しい環境の中で当社が成長していくためには、お客様にどのように貢献できるかであり、強いトップのリーダーシップのもと『事業の軸の再構築』で掲げられた『トータルエンジニアリング』という考え方を事業活動の核に普遍的なコンセプトとして考えております。そしてこの考えのもと、カスタマーファーストのために様々な活動に取り組んでいます。



THQCサークルテーマ事例全社大会

取引先様とともに

●調達方針説明会

調達基本方針

①開かれた公正・公平な取引の原則
②調達相手先と一体となった競争力強化の原則
③調達相手先との共存共栄の原則
④原価低減活動等における
課題・目標の共有と成果シェアの原則
⑤相互信頼に基づく
双方向コミュニケーションの確保の原則

様々な機会において取引先様とともに新しい価値を生み出し、お客様の満足を追及しています。また、取引先様との信頼関係を構築し相互発展を目指すために、毎年期初に調達方針説明会を開催、eSQCDの期待値を提示して戦略や方針などを共有し、パートナーシップを深めるとともに、バリューチェーンが一体となって「お客様満足」をともに追及しています。

事業に関するデータ

データ

●法改正対応・環境法令遵守状況

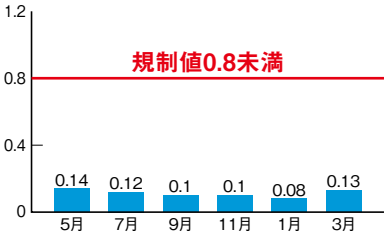
●フロン排出抑制法対応取り組み

フロン類使用設備の設置や維持保全、簡易点検・定期点検についてフロン類使用機器管理要領に基づき管理状況を確認し漏洩防止と適切な廃棄を管理しています。

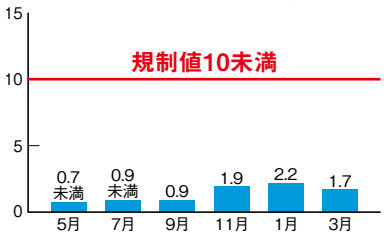
●豊田市との環境の保全を推進する協定

（雨水排水の水質管理状況）

フッ素及びその化合物 2023（mg/L）



アンモニア・アンモニア化合物、亜硝酸・硝酸化合物 2023（mg/L）

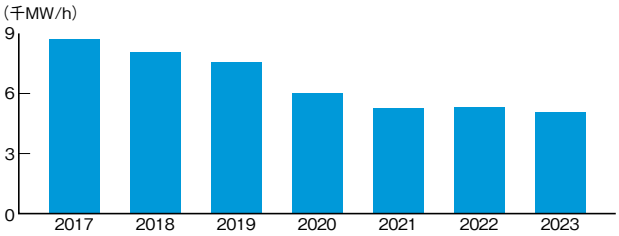


愛知県豊田市にある5工場並びに岐阜県瑞浪市にある1工場において、
2023年度は環境関係の規制基準の超過はありませんでした。

●企業活動に伴うマテリアルフロー

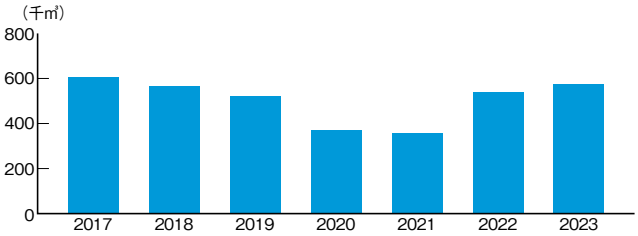
投入資源

●電力総使用量



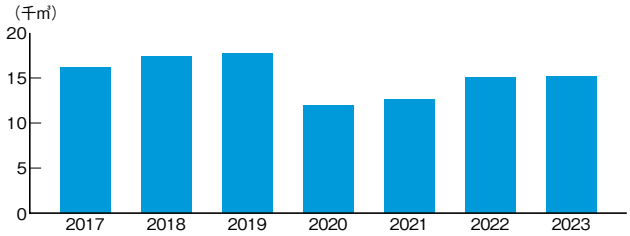
LED化や業務改善やソーラー発電により減少傾向にあります。

●都市ガス総使用量



46%が空調、54%が量産部品で使用してます。
エアコンスイッチをこまめに切り、メリハリのあるエアコン使用を推進してます。

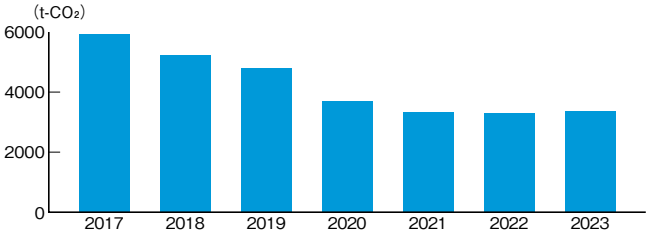
●水総使用量



量産部品の生産数に合わせた使用量の変動となります。

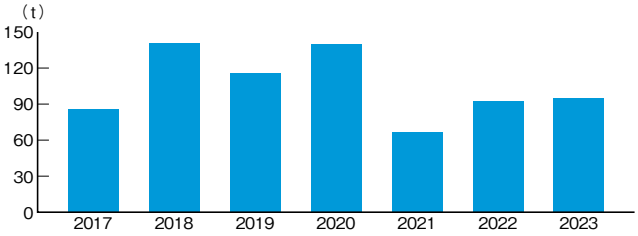
排出量

●温室効果ガス（CO_2）総排出量



LED化や業務改善の効果により、
近年排出量の低減努力を続けています。

●廃棄物総排出量



従来の廃棄物は減少傾向にありますが、
梱包用木わく等新たな廃棄物が発生してます。

大豊精機 活動レポート

2023年度

お問い合わせ先

大豊精機株式会社

経営管理部　総務室

TEL：0565-43-0801（代）　FAX：0565-43-0815